

立命館生協 総代会



取り組み概要

日時：2023年/5月27日 13:30~15:00
 場所：衣笠キャンパス以学館ホール
 参加者数や組合員の反応：約60名のほどの
 実出席があり、組合員が直接大学生協に意
 見を届け、対話することが出来ていた。

背景や概要：学生による22年度活動の振り
 返りや、今後に向けて方向性を共有しまし
 ました。また総代として生協運営の議決に参加
 したり、壇上で発言したりしました。
[当日の発言内容はこちら](#)

総代との対話を大切に
した総代会

POINT.1

学生が中心となった総代会の運営



立命館生協の総代会では、学生が中心となって運営されました。この会において、学生理事が第1、2、3号議案を提示し、2022年度の活動の振り返りや供給高の回復に関する説明が行われました。特に注目されたのは、「2030Goals」に向けた新しい方針の確認でした。これに関して、「平和」を基盤に、5つのキーポイント「つながり・交流」「学び成長」「健康・安全」「立命館に貢献」「社会に貢献」に焦点を当てたアンケートが実施されました。このアンケート結果を元に、立命館生協の新たな運動方針が定められることとなりました。

POINT.2

総代と運営陣との直接的な対話

総代会の中で「討議」の時間があり、総代自身が壇上に上がり、生協の運営陣(専務・理事等)に対して直接意見を伝え、「組合員との対話」を実現することが出来ました。当日総代側からは、ミールシステムのバリエーションについてや、アプリに求める追加機能、ヴィーガン向けの商品の常設など幅広い分野で直接コミュニケーションを取ることが出来ていました。



POINT.3

事前・事後の交流会の実施



立命館生協では、総代会を中心としたコミュニケーションの取り組みを拡大し、事前・事後の交流会を実施しました。事前交流会は、特に生協運営に興味を抱く組合員を中心に開催されました。この場では、事前に収集されたアンケート結果を共有し、それに基づいた意見や提案が活発に交わされました。一方、事後交流会は、総代会での議論や取り決めに振り返るとともに、今後の生協運営の方向性について深く議論する場として設けられました。組合員たちは、将来の生協活動の計画や改善点を共有し合い、更なる成長を目指して意見を出し合いました。このような取り組みを通じて、立命館生協は組合員との絆を強化し、持続的な関係を築き上げています。